

町田税務連絡協議会優秀賞

『納税への誓い』

町田市立町田第一中学校3学年 土屋 伊緒奈

「私立高校も考えていいよ。」いよいよ受験生かため息をついていた頃、親が言った一言に私は戸惑った。三姉妹の長女として育った私は以前から公立しか選べないと言われ続けていたからだ。

「東京都の私立高校の授業料が無償化されると決まったから。」それを聞いても正直ピンと来なかったが、それが都税と関連があると知り、税金に初めて興味を持った。

調べてみると、まず今回の制度は「私立高等学校授業料軽減助成金」の軽減とわかり、都内に住んでいれば私立高校の授業料が最大年四十八万四千円の助成が受けられる制度ということだった。三年間で約百五十万円の軽減だなんて本当に驚きだった。それが税金でまかなわれるってすごいことだと思った。

他にも教科書や学校の備品、この前建て替えが終わったばかりの私の新しい校舎も全部税金のおかげだとわかった。教育費として国などが負担している生徒一人あたりの年額は小学生が約九十二万、中学生で約百七万、高校生では約百十三万と、だいたい子供一人につき年百万円にもものぼっている。

教育費だけでなく、通学路にある信号機や図書館、市民プール、市役所などの施設やゴミ処理などの公的サービスも税金に支えられており、予防接種や医療費など私達の生活に不可欠な物やサービスまでもが恩恵を受けていると知り、私は税金ってスーパーヒーローだと思った。今まで何となく消費税高いし税金は無駄な使われ方をしていると耳にしていたので嫌なイメージしかなかったけど、実はこんなに生活を支えてくれていて私達は税金がなければ豊かな暮らしとは程遠いものになってしまうということを知り、印象ががらりと変わった。もっと税金があることに感謝をしなければと思った。

私のように、よく知らずに誤解している人が大多数で、もっとみんなが税金について知ること、より納税の価値を理解した上で支払いの意義を感じてくれるのではと思った。税金が使われている物やサービス全てに、税金マークを付けるなど、もっと役立っている実感につながるようになればいいのかもしれない。

私は早速この夏何校か私立高校に足を運び見学会に参加してみた。思いきり部活に打ち込める環境や、放課後に塾が開設されている学校などそれぞれに特色があり、都立高校とはまた違った魅力を感じた。まだ志望校は決めていないけれど、公立も私立もどちらも選択できるのはやっぱり税金のおかげだと改めてありがたさを実感した。私はこれから納税する側になるけれど、感謝しながらしっかりと税金を納めようと心に誓った。